

適用規格						
定 格	使用温度範囲	-40 °C ~ 85 °C	保存温度範囲	-10 °C ~ 50 °C (梱包材を含む)		
	電 圧	AC/DC 50 V	使用・保存湿度範囲	相対湿度90%以下 (結露しないこと)		
	電 流	0.5 A (全芯数通電する場合は×70%)	適合ケーブル	t=0.3±0.05mm、接触部：金めっき		
性 能						
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT	
構造	外觀、構造及び仕上げ表示	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○	
		目視にて確認する。		○	○	
電 氣 的 性 能	接触抵抗	1 mA (DC 又は 1000 Hz)で測定する。	50 mΩ以下 ※ FPC, FFC 導体抵抗を含む。(L=8mm)	○	○	
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	500 MΩ以上	○	○	
	耐電圧	AC 150 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○	
機 械 的 性 能	繰り返し動作	20 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗： 50 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-	
	耐振性	周波数 10 ~ 55 Hz, 片振幅 0.75 mm, 3 軸方向各 10サイクル試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 接触抵抗： 50 mΩ以下	○	-	
	衝撃	加速度 981 m/s ² , 持続時間 6 ms, 正弦半波 3軸両方向 各3回試験する。	③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-	
	FPC保持力	適合FPCで測定する。(コネクタ、FPC共に初期。FPC端末厚t=0.3mm)	挿入方向 0.4×n N以上 (n:芯数)	○	-	
環 境 的 性 能	温度サイクル	温度 -40→+15~+35→+85→+15~+35 °C 時間 30→ 2~3 → 30→ 2~3 分 を 5 サイクル試験する。	① 接触抵抗： 50 mΩ以下 ② 絶縁抵抗： 50 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-	
	定常状態の耐湿性	温度 40±2 °C, 湿度 90~95 %中に 96時間放置する。		○	-	
	温湿度サイクルの耐湿性	温度 -10~+65 °C, 湿度 90~96 %中に 10 サイクル(240 時間) 放置する。	① 接触抵抗： 50 mΩ以下 ② 絶縁抵抗： 1 MΩ以上 (高温時) ③ 絶縁抵抗： 50 MΩ以上 (乾燥時) ④ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-	
	耐熱性	温度 85±2°C中 96 時間放置する。	① 接触抵抗： 50 mΩ以下	○	-	
	耐寒性	温度 -40±3°C中 96 時間放置する。	② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-	
	塩水噴霧	温度 35±2°C、濃度 5% の塩水噴霧中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗： 50 mΩ以下 ② はなはだしい腐食がないこと。	○	-	
	二酸化硫黄 [JIS C 0090]	温度 40±2 °C、相対湿度 80±5% 濃度 25±5ppmに 96 時間放置する。		○	-	
	硫化水素 [JIS C 0092]	温度 40±2 °C、相対湿度 80±5% 濃度 10~15ppmに 96 時間放置する。		○	-	
	はんだ耐熱性	1) リフローの場合 MAX 250 °C (2回迄可) 230 °C以上 30秒以内 プレヒート 150~200°C 90~120秒 2) 手はんだの場合 350±10 °C 5±1秒間	外觀の変形及び端子などに著しい ガタがないこと。	○	-	
はんだ付け性	はんだ温度 235±5 °C, 浸せき時間 2±0.5 秒間のはんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の 95 %以上が 新しいはんだでぬれていること。	○	-		
△の数	訂正記事	設計	検図	年月日		
備考				承認	NM. NISHIMATSU	12. 01. 27
				検 図	HS. SAKAMOTO	12. 01. 27
				担 当	SG. MASAKI	12. 01. 27
				製 図	SG. MASAKI	12. 01. 27
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。						
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC4-159266-01		
HRS	製品規格表		製品名	FH12-**S-0.5SVA (54)		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL586	△ 1/1	